

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0008

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	ガレキ一時保管施設設置(2期)工事								
	発生場所	エリアA2					2019/2/26	2019/2/25	2019/2/25	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/2/18	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-151		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	可燃物その他	A	04	D	B	2 m ²	0.005 mSv/h	0.008 mSv/h	無
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	2 m ²	0.005 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
3	紙・ウエス類	A	01	D	B	1 m ²	0.005 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ・トンパック・プラスチック・紙ウエス類 企業殿持込										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0159
調整後保管日時				2019年3月14日 8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/14 8:15	1.7 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/14 8:15	1.8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0008

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0160
				2019/2/26
調整後保管日時		2019年3月15日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	8:30	承認	審査	作成	
	作業件名	ガレキ一時保管施設設置(2期)工事							
	発生場所	エリアA2							
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/2/18	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-151	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	可燃物その他	A 04	D B	3 m ²	0.005 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	2 m ²	0.005 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	3				m ²				
4				m ²					
5				m ²					
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 ・トンパック ・プラスチック等 企業殿持込								

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/15 8:10	2.7 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/15 8:10	0.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0010

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0163
				2019/2/26
調整後保管日時		2019年3月15日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	構内排水路(A系)付替工事								
	発生場所	K2エリア西側道路						2019/2/25	2019/2/22	
	作業主管G	土木保全・総括グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-120		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ²	0.002 mSv/h	0.007 mSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/3/15 11:00	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0010

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	構内排水路(A系)付替工事								
	発生場所	K2エリア西側道路					2019/2/25	2019/2/22	2019/2/22	
	作業主管G	土木保全・総括グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-120		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β ・ γ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ²	0.002 mSv/h	0.007 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0164
				2019/2/26
調整後保管日時		2019年3月15日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/3/15 11:20	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	構内排水路(A系)付替工事								
	発生場所	K2エリア西側道路						2019/2/25	2019/2/25	
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-120		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ³	0.002 mSv/h	0.007 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0165
				2019/2/26
調整後保管日時		2019年3月15日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/3/15 12:00	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —			
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —			
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013211 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	12:30	承認	審査	作成			
	作業件名	2号機周辺建屋屋根面雨水対策									
	発生場所	2号機原子炉建屋周辺ヤード				2019/2/25	2019/2/25	2019/2/25			
	作業主管G	2号機建築グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/2/20	測定者			測定器名	ICBL				
						管理番号	F1-ICBL-82				
No.	保管物名			※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	①	②	③								
	1	ボルト他(金属ガラ)	B 01	D	B	1 m ³	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
	2	コンクリートガラ	B 02	D	B	0.5 m ³	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
	3	砂他(土砂類)	B 04	D	B	1 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無		
4	アスファルトガラ	B 09	D	B	2.5 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無			
5					m ³						
60tラフタークレーン使用											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0178
				2019/2/26
調整後保管日時		2019年3月14日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月14日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	4	1	アスファルトガラ ⑪	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/3/14 12:00	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
	②		状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票				計上No.	6013211 - 0001
---------------------	--	--	--	-------	----------------

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	12:30	承認	審査	作成		
	作業件名	2号機周辺建屋屋根面雨水対策								
	発生場所	2号機原子炉建屋周辺ヤード					2019/2/25	2019/2/25	2019/2/25	
	作業主管G	2号機建築グループ					監理員	TEL		
	元請会社						担当者	TEL		
	線量測定年月日	2019/2/20	測定者			測定器名	ICBL	管理番号	F1-ICBL-82	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	ボルト他(金属ガラ)	B	01	D	B	1 m ³	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
2	コンクリートガラ	B	02	D	B	0.5 m ³	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
3	砂他(土砂類)	B	04	D	B	1 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
4	アスファルトガラ	B	09	D	B	2.5 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
5						m ³				
60tラフタークレーン使用										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0179
				2019/2/26
調整後保管日時		2019年3月15日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ボルト他(金属ガラ)②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/15 11:40	1 m ³			1
	2	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/3/15 11:40	0.5 m ³			1
	4	1	アスファルトガラ①①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/3/15 11:40	1.5 m ³			1
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0205

作業主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	12:00	承認	審査	作成												
	作業件名	ろ過水配管PE管化工事																		
	発生場所	ろ過水タンクエリア																		
	作業主管G	処理設備グループ			監理員	TEL														
	元請会社				担当者	TEL														
	線量測定年月日	2019/2/15	測定者		測定器名	F1-ICWBL-72	管理番号	F1-ICWBL-72												
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率											
		①	②	③																
		1	ケーブル類	B						08	D	A	0.2	m	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無	
		2	金属ガラ	B						01	D	B	2	m	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無	
		3	不燃物その他	B						10	D	B	3	m	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無	
		4	難燃物その他	C						04	D	B	5	m	0.005	mSv/h	0.005	mSv/h	無	
5																				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 場所標準グリットGS-24GT-24																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	03	—	0180
調整後保管日時				2019年3月14日
				12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2		ICWBL	F1-ICWBL-127	
3				
4				

保管実績 記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/14 11:50	1 m			1
	3	1	不燃物その他②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/14 11:50	2 m			1
	4	1	難燃物その他(→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/14 12:00	5 m			2
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
		D	伐採木	状態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		
		注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。										
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。										

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0180

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	10:00	承認	審査	作成
	作業件名	SARRY II 設置						
	発生場所	棟						
	作業主管 G	処理設備グループ				監理員	TEL	
	元請会社					担当者	TEL	
	線量測定年月日	2019/2/1		測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ	B 01	D B	3 m ³	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有 0.05 mSv/h
	2	不燃物その他	B 10	D B	2 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3				m ³			
	4				m ³			
	5				m ³			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0182
				2019/2/26
調整後保管日時		2019年3月14日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2019/3/14 9:10	5 m ³		FU-00332	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ 上記保管物収納後のコンテナ表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=10 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=10 μ Sv/h

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0008

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0192
				2019/2/26
調整後保管日時		2019年3月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	ガレキ一時保管施設設置(2期)工事								
	発生場所	エリアA2				2019/2/26	2019/2/26	2019/2/26		
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/18	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-151		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β ・ γ 線量率
	1	木材類	A	03	D	B	4 m ³	0.005 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2	紙・ウエス類	A	01	D	B	1 m ³	0.005 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 ・サン木 ・巾木 ・コンパネ ・木パレット等 企業殿持込										

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/13 10:00	4 m ³			1
	2	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/13 10:00	1 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
	メ モ											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0008

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0193
				2019/2/26
調整後保管日時		2019年3月13日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	ガレキ一時保管施設設置(2期)工事								
	発生場所	エリアA2				2019/2/26	2019/2/26	2019/2/26		
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/18	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-151		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	難燃シート類	C	02	D	B	5 m ²	0.005 mSv/h	0.008 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 ・紙・ウエス・ブルーシート・ 企業殿持込										

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃シート類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/13 12:00	1.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0008

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受 付 番 号					
廃2019	—	03	—	0194	2019/2/26
調整後保管日時		2019年3月15日		9:30	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容					
測定日	2019年3月15日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号		
1		ICW	F1-ICW-209		
2					
3					
4					

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	ガレキ一時保管施設設置(2期)工事									
	発生場所	エリアA2									
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員					
	元請会社					担当者					
	線量測定年月日	2019/2/18	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-151		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	金属ガラ	B	01	D	B	5 m ²	0.005 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
メモ	注: α 有、 $\beta \cdot \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 ・3槽南・倉庫脇・被服番線等 企業殿持込										

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/15 8:50	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0007

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年3月15日	(金)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	緑化地帯維持管理業務							
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2019/2/26	2019/2/26	2019/2/26		
	作業主管G	総務グループ	監理員		TEL				
	元請会社		担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/2/25	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号 031		
G 記 入 欄 メモ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③					
	1	木材類(わりばし)	A 03	D A	4 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無	
	2				m ²				
	3				m ²				
	4				m ²				
	5				m ²				
	持込 3月中に処理希望								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0213
				2019/2/27
調整後保管日時		2019年3月15日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類(わりばし)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/15 11:00	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0007																																																																								
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年3月15日		(金)		11:30		承認		審査	作成																																																																						
	作業件名		緑化地帯維持管理業務																																																																															
	発生場所		福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)						2019/2/26		2019/2/26	2019/2/26																																																																						
	作業主管G		総務グループ				監理員		TEL																																																																									
	元請会社						担当者		TEL																																																																									
	線量測定年月日		2019/2/25		測定者				測定器名		F1-ICW		管理番号	031																																																																				
	No.		保管物名			※カテゴリ			物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β ・ γ 線量率																																																																			
	1		不燃物その他(缶)			B 10 D A			2 m ²		3 μ Sv/h		3 μ Sv/h	無																																																																				
	2								m ²																																																																									
	3								m ²																																																																									
4								m ²																																																																										
5								m ²																																																																										
持込 3月中に処理希望																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="10">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="9">2019年3月15日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="7">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="7">F1-ICW-209</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> </tbody> </table>													線量測定内容										測定日	2019年3月15日									測定No.	氏名	測定器	管理番号							1		ICW	F1-ICW-209							2										3										4									
線量測定内容																																																																																		
測定日	2019年3月15日																																																																																	
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																															
1		ICW	F1-ICW-209																																																																															
2																																																																																		
3																																																																																		
4																																																																																		
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β ・ γ 線量率		保管場所		保管日時		物量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																															
	1	1	不燃物その他(缶) ①		5 μ Sv/h		5 μ Sv/h				エリアP(屋外)		2019/3/15 10:40		2 m ²				1																																																															
															m ²																																																																			
															m ²																																																																			
															m ²																																																																			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																		
メ モ																																																																																		
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —																																																																						
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —																																																																						
			B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																					
					06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																					
					11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —																																																																					
					C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —																																																																			
		01 伐採木(幹・根)					02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —																																																																					
		01 伐採木(幹・根)					02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —																																																																					
		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)			03 —		04 —		05 —																																																																							
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —																																																																						
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —																																																																						
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —																																																																						
	②		状態		D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																							
	注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。																																																																																	

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0006

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0215
				2019/2/27
調整後保管日時		2019年3月13日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-127	
2		ICW	F1-ICW-209	
3				
4				

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	13:00		承認	審査	作成	
	作業件名	小口工事								
	発生場所	5/6号機建屋						2019/2/27	2019/2/27	2019/2/27
	作業主管G	建築保全・総括グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/2/20	測定者		測定器名	ICW	管理番号	リ-ICW-160		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	消火器本体容器、空ボンベ等	B	01	D	A	2 m ²	0.01 μ Sv/h	0.01 μ Sv/h	無
	2	ホース類	C	01	D	A	2 m ²	0.01 μ Sv/h	0.01 μ Sv/h	無
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	消火器本体容器、空ボンベ等 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/13 12:10	2 m ²			2
	2	1	ホース類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/13 12:40	0.6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	小口工事								
	発生場所	5/6号機建屋					2019/2/27	2019/2/27	2019/2/27	
	作業主管G	建築保全・総括グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/2/20	測定者		測定器名	ICW	管理番号	リ-ICW-160		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	消火器本体容器、空ボンベ等	B	01	D	A	2 m	0.01 μSv/h	0.01 μSv/h	無
	2	不燃物その他(ホース類)	B	10	D	A	2 m	0.01 μSv/h	0.01 μSv/h	無
	3						m			
	4						m			
	5						m			
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	-	03	-	0216
				2019/2/27
調整後保管日時		2019年3月14日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	消火器本体容器 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/3/14 10:50	1.5 m			1
	1	2	空ボンベ等 ①①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/3/14 10:50	0.1 m			1
	2	1	不燃物その他(ホース類) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/3/14 10:50	1 m			1
									m			
									m			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 -
				06 -	07 -	08 -	09 -	10 -
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 -	14 -	15 -
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 -
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 -	04 -	05 -
	③	D	伐採木	状態	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0205

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	11:30		承認	審査	作成
	作業件名	ろ過水配管PE管化工事							
	発生場所	ろ過水タンクエリア						2019/2/26	2019/2/26
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2019/2/15	測定者		測定器名	F1-ICWBL-72	管理番号	F1-ICWBL-72	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無
1	難燃物その他	C	04	D	A	3 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			

注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。
場所標準グリットGS-24GT-24 企業殿持込み

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0220
				2019/2/27
調整後保管日時		2019年3月15日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-127	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物その他 (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/15 11:30	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —

② 状態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012317 - 0032

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	モニタリングポスト電源切替盤取替								
	発生場所	構外ヤード(MP-3, 4, 5, 6, 7) ほか					2019/2/27	2019/2/27		
	作業主管G	環境モニタリンググループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/26	測定者		測定器名	γシンチレーション	管理番号	F1-SC-148		
記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	機器類・制御盤類(電源切替盤など)	B 03	D	B	2.5 m ²	0.3 μSv/h	0.3 μSv/h	無	
	2	ケーブル類(電源ケーブルなど)	B 08	D	B	1 m ²	0.3 μSv/h	0.3 μSv/h	無	
	3	金属ガラ(電線管、鋼材など)	B 01	D	B	1 m ²	0.3 μSv/h	0.3 μSv/h	無	
	4	不燃その他	B 10	D	B	1 m ²	0.4 μSv/h	0.3 μSv/h	無	
5	コンクリートガラ(アスベスト含む)	B 07	D	B	0.5 m ²	0.3 μSv/h	0.3 μSv/h	無		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0231
				2019/2/27
調整後保管日時		2019年3月14日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類(電源切替盤など) ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/14 9:50	2.5 m ²			1
	2	1	ケーブル類(電源ケーブルなど) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/14 9:50	0.5 m ²			1
	3	1	金属ガラ(電線管、鋼材など) ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/14 9:50	0.2 m ²			1
	5	1	コンクリートガラ(アスベスト含む)	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアW1	2019/3/14 9:50	0.2 m ²		ZK-01489	1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
No.5の保管物収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=10 μSv/h, β+γ線量率=10 μSv/h												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
	D	伐採木							
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012317 - 0022

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0232
調整後保管日時				2019年3月15日 12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2		ICW	F1-ICW-179	
3		ICWBL	F1-ICWBL-127	
4				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年3月15日 (金) 12:30		承認	審査	作成		
	作業件名	CVCF盤および蓄電池取替						
	発生場所	構外ヤード(MP-1, 2, 8) ほか						
	作業主管G	環境モニタリンググループ	監理員	TEL				
	元請会社		担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/26	測定者	測定器名	管理番号	F1-SC-148		
	No.	保管物名	※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	機器類・制御盤類(電源切替盤など)	B 03 D A	1.5 m ²	0.3 μSv/h	0.3 μSv/h	無	
	2	ケーブル類(電源ケーブルなど)	B 08 D A	1 m ²	0.4 μSv/h	0.3 μSv/h	無	
	3	金属ガラ(電線管、鋼材など)	B 01 D B	1 m ²	0.3 μSv/h	0.3 μSv/h	無	
4	不燃その他	B 10 D B	1 m ²	0.3 μSv/h	0.3 μSv/h	無		
5	コンクリートガラ(アスベスト含む)	B 07 D B	0.5 m ²	0.3 μSv/h	0.3 μSv/h	無		

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	機器類・制御盤類(電源切替盤など) ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/15 11:50	1.5 m ²			1
2	1	1	ケーブル類(電源ケーブルなど) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/15 11:50	0.5 m ²			1
3	1	1	金属ガラ(電線管、鋼材など) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/15 11:50	0.5 m ²			1
4	1	1	不燃その他 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/15 11:50	0.5 m ²			1
5	1	1	コンクリートガラ(アスベスト含む)	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアW1	2019/3/15 11:50	0.1 m ²		ZK-01489	1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

No.5の保管物収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=10 μSv/h, β + γ 線量率=10 μSv/h

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③								
	6	難燃シート類	C	02	D	B	1	m ²	0.3	μ Sv/h	0.3	μ Sv/h	無
	7	難燃物その他(FEP管など)	C	04	D	B	1	m ²	0.3	μ Sv/h	0.3	μ Sv/h	無
	8	紙・ウエス類	A	01	D	B	1	m ²	0.4	μ Sv/h	0.3	μ Sv/h	無
	9	プラスチック・ホリ・ビニール類	A	02	D	B	1	m ²	0.3	μ Sv/h	0.3	μ Sv/h	無
	10							m ²					

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	03	—	0232

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	難燃シート類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアB	2019/3/15 12:30	0.01	m ²			2
	7	1	難燃物その他(FEP管など)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアB	2019/3/15 12:30	0.01	m ²			3
	8	1	紙・ウエス類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアB	2019/3/15 12:30	0.01	m ²			2
	9	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアB	2019/3/15 12:30	0.5	m ²			2
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0025

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	9:30	承認	審査	作成				
	作業件名	M/C2A・2B～1A・1B母連電路埋設工事										
	発生場所	1～4号機T/B及びS/B				2019/2/27	2019/2/27	2019/2/27				
	作業主管G	所内電源グループ			監理員	-	TEL					
	元請会社				担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/2/26	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-33				
	No.	保管物名			※カテゴリ	①	②	③	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	全面マスク・ヘルメット・短靴			B	07	D	A	1 m ²	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	無	
2	紙・ウエス類(タイベック・靴下)			B	07	D	A	0.8 m ²	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	無	
3	鉄くず			B	07	D	A	0.2 m ²	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	無	
4								m ²				
5								m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	03	—	0234
				2019/2/27
調整後保管日時		2019年3月14日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	全面マスク・ヘルメット・短靴	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアW1	2019/3/14 9:15	0.4 m ²		ZK-01489	1
	2	1	紙・ウエス類(タイベック・靴下)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアW1	2019/3/14 9:15	0.2 m ²		ZK-01489	1
	3	1	鉄くず	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアW1	2019/3/14 9:15	0.1 m ²		ZK-01489	1
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記保管物収納後のコンテナ表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=10 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=10 μ Sv/h

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0017

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1W スタックサンピット廃液抜出業務委託								
	発生場所	1/2号機排気筒エリア(GK-22東)						2019/2/28	2019/2/28	
	作業主管G	廃棄物設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/2/22	測定者		測定器名	ICS-323C		管理番号	R06009	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β-α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
	1	紙・ウエス類	A	01	W	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2	可燃物その他	A	04	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0248
調整後保管日時				2019年3月13日 12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	4 μSv/h		エリアB	2019/3/13 12:20	0.1 m ²			1
	2	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/13 12:20	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01紙・ウエス類	02プラスチック・ポリ・ビニール類	03木材類	04可燃物その他	05	—	
				06—	07—	08—	09—	10—		
		B	不 燃 物	01金属ガラ	02コンクリートガラ	03機器類・制御盤類	04土砂類	05塩化ビニール類		
				06保温材	07石綿含有物	08ケーブル類	09アスファルトガラ	10不燃物その他		
				11フランジタンク本体	12フランジタンク付属品	13—	14—	15—		
		C	難燃物	01ゴム類	02難燃シート類	03ホース類	04難燃物その他	05—		
				D	伐 採 木	01伐採木(幹・根)	02伐採木(枝・葉)	03—	04—	05—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	B南エリア				2019/3/1	2019/3/1	2019/3/1		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/27	測定者		測定器名	βγ用電離箱		管理番号		
						1F-ICWBL-98				
No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
1	型枠材	A	03	D	B	2 m ³	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
10tDT×1台										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	03	—	0270
				2019/3/1
調整後保管日時		2019年3月13日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	型枠材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/13 8:00	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	04 —	05 —
	③	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0028					
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	9:00		承認	審査	作成						
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事													
	発生場所	B南エリア						2019/3/1	2019/3/1	2019/3/1					
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL						
	元請会社					担当者			TEL						
	線量測定年月日	2019/2/27	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	1F-ICWBL-98					
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率				
	1	型枠材		A	03	D	B	2	m ²	0.008	mSv/h	0.008	mSv/h	無	
	2							m ²							
	3							m ²							
4							m ²								
5							m ²								
メモ	10tDT×1台														

固体廃棄物管理G記入欄										受付	
受 付 番 号											
廃2019	—	03	—	0271	2019/3/1						
調整後保管日時				2019年3月13日				9:00			
【保管時の指示事項等】											

線量測定内容											
測定日	2019年3月13日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICW	F1-ICW-179								
2											
3											
4											

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h					2	m ²			
	1	1	型枠材	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアB	2019/3/13 9:00	2	m ²			1
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —	
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
C	難 燃 物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —			
		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —			
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0272
				2019/3/1
調整後保管日時		2019年3月13日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

作業主管理G記入欄メモ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	10:30	承認	審査	作成
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事						
	発生場所	B南エリア				2019/3/1	2019/3/1	2019/3/1
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL		
	元請会社			担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/2/27	測定者		測定器名	βγ用電離箱		管理番号
						1F-ICWBL-98		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
				①	②	③		β・α 汚染の有無
	1	型枠材	A	03	D	B	2 m ³	0.008 mSv/h
2						m ³		
3						m ³		
4						m ³		
5						m ³		
10tDT×1台								

保管実績記入欄メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	型枠材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/13 10:50	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013402 - 0004				
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	11:00		承認	審査	作成					
	作業件名	5・6T 取水路点検手入工事												
	発生場所	5号機 T/B 1FL TCW-Hxエリア						2019/3/1	2019/3/1	2019/2/28				
	作業主管G	機械グループ				監理員	TEL							
	元請会社					担当者	TEL							
	線量測定年月日	2019/2/26	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-35				
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率			
	1	ウェス、段ボール、紙類	A	01	D	B	2 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無				
	2	難燃シート	C	02	D	B	1 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無				
	3	ゴムパッキン類	C	01	D	B	0.4 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無				
4						m ²								
5						m ²								
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。														
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.		
	1	1	ウェス、段ボール、紙類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/13 11:00	1.6 m ²			1		
	2	1	難燃シート	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/13 11:00	0.2 m ²			1		
	3	1	ゴムパッキン類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/13 11:00	0.1 m ²			1		
									m ²					
									m ²					
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載													
※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
		注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)												
		注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。												
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。														

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0003

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事								
	発生場所	化学分析棟				2019/3/1	2019/3/1	2019/3/1		
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/28	測定者		測定器名	電離箱式線量計	管理番号	F1-ICWBL-100		
メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	塩化ビニール類	B 05	D	B	0.3 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
	2	保温材	B 06	D	A	1 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
	3	ケーブル類	B 08	D	A	0.3 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
	4	不燃物その他	B 10	D	B	0.2 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
5	金属ガラ	B 01	D	A	0.3 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無		
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0284
				2019/3/1
調整後保管日時		2019年3月14日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	保温材 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/14 10:45	0.2 m ²			1
	4	1	不燃物その他 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/14 10:45	0.1 m ²			1
	5	1	金属ガラ ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/14 10:45	0.3 m ²			1
	6	1	機器類・制御盤類 ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/14 10:45	4 m ²			1
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管G 記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③							
	6	機器類・制御盤類	B	03	D	A	4.5 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無		
	7	不燃物その他	B	10	D	B	0.2 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無		
	8						m ²					
	9						m ²					
	10						m ²					

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	03	—	0284

保管実績記入欄	No.	枝番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
												m³				
												m³				
												m³				
												m³				
												m³				
												m³				
												m³				
												m³				
											m³					
											m³					
											m³					
											m³					
											m³					
											m³					
											m³					
											m³					
											m³					

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0025

作業主管理	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	11:30	承認	審査	作成						
	作業件名	M/C2A・2B～1A・1B母連電路埋設化工事												
	発生場所	1,2号機T/B					2019/3/5	2019/3/5	2019/3/5					
	作業主管G	所内電源グループ			監理員		TEL							
	元請会社				担当者		TEL							
線量測定	線量測定年月日	2019/2/27	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-52						
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率				
		①	②	③										
		1	紙・ウエス類	A 01 D B	3 m ²						2 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無	
		2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02 D B	2 m ²						2 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無	
3				m ²										
4				m ²										
5				m ²										
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0310
				2019/3/5
調整後保管日時		2019年3月14日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/14 9:50	0.5 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/14 9:50	1.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0025

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日	(木)	12:00	承認	審査	作成				
	作業件名	M/C2A・2B～1A・1B母連電路埋設化工事									
	発生場所	1,2号機T/B			2019/3/5	2019/3/5	2019/3/5				
	作業主管G	所内電源グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2019/2/27	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-52			
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	難燃物その他		C	04	D	B	3 m ³	2 μSv/h	5 μSv/h	無	
2							m ³				
3							m ³				
4							m ³				
5							m ³				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0311
				2019/3/5
調整後保管日時		2019年3月14日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/14 9:30	0.5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013801 - 0005						
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	8:00		承認	審査	作成							
	作業件名	1F 4m盤エリア排水設備工事														
	発生場所	2.5m盤エリア				2019/3/5	2019/3/5	2019/3/5								
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員			TEL								
	元請会社				担当者			TEL								
	線量測定年月日	2019/2/27	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-131						
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率				
	1	可燃物その他			A 04	D B	3 m ³	0.002 mSv/h		0.002 mSv/h	無					
	2	プラスチック・ポリ			A 02	D B	2 m ³	0.002 mSv/h		0.002 mSv/h	無					
	3						m ³									
4						m ³										
5						m ³										
線量測定内容																
測定日	2019年3月13日															
測定No.	氏名	測定器	管理番号													
1		ICW	F1-ICW-179													
2																
3																
4																
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	可燃物その他	2 μ Sv/h		2 μ Sv/h				エリアB	2019/3/13 8:00	2.6 m ³			1	
	2	1	プラスチック・ポリ	2 μ Sv/h		2 μ Sv/h				エリアB	2019/3/13 8:00	0.9 m ³			1	
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
	※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —			
06 —					07 —		08 —		09 —		10 —					
B			不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類				
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他				
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —				
C			難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —				
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —				
D			伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —				
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —				
②			状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」								
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013801 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	11:30	承認	審査	作成	
	作業件名	1F 4m盤エリア排水設備工事							
	発生場所	2.5m盤エリア				2019/3/5	2019/3/5	2019/3/5	
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/2/27	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-131	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無
1	プラスチック・ポリ	A	02	D	B	5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	03	—	0319
				2019/3/5
調整後保管日時		2019年3月13日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ(→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/13 11:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	04 —	05 —

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013801 - 0005

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	8:00	承認	審査	作成												
	作業件名	1F 4m盤エリア排水設備工事																		
	発生場所	2.5m盤エリア					2019/3/5	2019/3/5	2019/3/5											
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員		TEL													
	元請会社				担当者		TEL													
	線量測定年月日	2019/2/27	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-131											
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	プラスチック・ポリ	A						02	D	B	5	m	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無	
		2											m							
		3											m							
		4											m							
5						m														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0320
				2019/3/5
調整後保管日時		2019年3月14日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		プラスチック・ポリ	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/14 8:00	1 m			1
1	2		プラスチック・ポリ (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/14 8:00	2 m			1
									m			
									m			
									m			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013801 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日	(木)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F 4m盤エリア排水設備工事							
	発生場所	2.5m盤エリア			2019/3/5	2019/3/5	2019/3/5		
	作業主管G	地下水調査グループ	監理員		TEL				
	元請会社		担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/2/27	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号 F1-ICWBL-131		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	木材類	A 03	D B	5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2				m ²				
	3				m ²				
	4				m ²				
	5				m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0321
				2019/3/5
調整後保管日時		2019年3月14日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/14 10:45	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013801 - 0005

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	8:00		承認	審査	作成
	作業件名	1F 4m盤エリア排水設備工事							
	発生場所	2.5m盤エリア						2019/3/5	2019/3/5
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員		TEL	
	元請会社					担当者		TEL	
	線量測定年月日	2019/2/27	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-131
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	木材類	A	03	D	B	5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0322
調整後保管日時				2019年3月15日 8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/15 8:00	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0007

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月15日	(金)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F 共用プール南側ヤード整備工事								
	発生場所	2.5m盤エリア			2019/3/5	2019/3/5	2019/3/5			
	作業主管G	地下水調査グループ	監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/2/27	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-131		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	木材類	A	03	D	B	5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0323
				2019/3/5
調整後保管日時		2019年3月15日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/15 10:30	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票				計上No.	6013706 - 0021
---------------------	--	--	--	-------	----------------

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	11:00	承認	審査	作成	
	作業件名	1F-4号機 タービン建屋内滞留残水排水設備設置							
	発生場所	1~4号機					2019/3/4	2019/3/4	2019/3/4
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-26	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	紙・ウエス類(ダンボール)	A 01	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2					m ²			
	3					m ²			
4					m ²				
5					m ²				
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 企業殿持込み									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0329
				2019/3/6
調整後保管日時		2019年3月13日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類(ダンボール)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/13 11:00	3.8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	②	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	—	02	—	03	—	04	—	05	—
				01	—	02	—	03	—	04	—	05	—
				01	—	02	—	03	—	04	—	05	—
	③	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013706 - 0021

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-4号機 タービン建屋内滞留残水排水設備設置								
	発生場所	1~4号機						2019/3/4	2019/3/4	2019/3/4
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-26		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	プラスチック・ポリビニール類	A 02	D B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2				m ²					
	3				m ²					
4				m ²						
5				m ²						
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 企業殿持込み									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0330
				2019/3/6
調整後保管日時		2019年3月15日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/15 11:00	5.6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013707 - 0207	
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	水処理設備スラッジ等処理業務委託(H30)							
	発生場所	Cエリア 廃液供給タンク付近				2019/3/5	2019/3/5	2019/3/5	
	作業主管G	処理設備グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/3/1	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-18
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	ゴム類	C	01	D	B	0.4 m ²	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 企業股持込み									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0331
				2019/3/6
調整後保管日時		2019年3月13日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴム類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/13 8:40	0.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0016

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0337
				2019/3/6
調整後保管日時		2019年3月15日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	地下水バイパス揚水井点検用ハウス設置									
	発生場所	超高圧開閉所(東側)					2019/3/6	2019/3/6	2019/3/6		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/3/5	測定者		測定器名	Naシンチレーション	管理番号	1F-SC-114			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	B	2 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	保温材	B	06	D	B	1 m ³	0.01 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	3	不燃その他	B	10	D	B	2 m ³	0.01 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
4						m ³					
5						m ³					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/15 11:10	2 m ³			1
	2	1	保温材②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/15 11:10	1 m ³			1
	3	1	不燃その他②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/3/15 11:10	1 m ³			1
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0016

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0338
				2019/3/6
調整後保管日時		2019年3月15日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年3月15日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	地下水バイパス揚水井点検用ハウス設置								
	発生場所	超高圧開閉所(東側)					2019/3/6	2019/3/6	2019/3/6	
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/3/5	測定者		測定器名	NaIシンチレーション	管理番号	1F-SC-114		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β ・ γ 線量率
	1	紙・ウエス類	A 01	D B	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.008 mSv/h	無		
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	0.4 m ²	0.01 mSv/h	0.008 mSv/h	無		
	3				m ²					
4				m ²						
5				m ²						
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/15 12:00	0.3 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/15 12:00	0.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012801 - 0014

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月14日		(木)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1 原子炉建屋オベフロ瓦礫撤去工事								
	発生場所	企業棟				2019/3/6	2019/3/6	2019/3/6		
	作業主管G	燃料設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/28	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-191	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	紙・ウエス類	A	01	W	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	難燃シート類	C	02	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
メ モ	当該作業件名で計上分を「60128010017(1F-3 燃料取扱設備他点検)」へ流用。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0346
				2019/3/6
調整後保管日時		2019年3月14日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアB	2019/3/14 8:20	2.4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	04 —	05 —

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012801 - 0014

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0347
調整後保管日時				2019年3月15日 10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	10:00		承認	審査	作成
	作業件名	1F-1 原子炉建屋オベフロ瓦礫撤去工事							
	発生場所	企業棟						2019/3/6	2019/3/6
	作業主管G	燃料設備グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2019/2/1	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-191	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	紙・ウエス類	A 01	W B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	木材類	A 03	D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	可燃物その他	A 04	D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
5									
当該作業件名で計上分を「60128010017(1F-3 燃料取扱設備他点検)」へ流用。									

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/15 10:00	0.8 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/15 10:00	2.4 m ²			1
	4	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/15 10:00	0.9 m ²			1
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H4南エリア					2019/3/7	2019/3/7		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/2/26	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-87		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無		
		①	②	③				β + γ 線量率		
	1	可燃物(角材・コンパネ)	A	03	D	B	5 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
木材は10tダンプ使用										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0350
				2019/3/7
調整後保管日時		2019年3月13日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(角材・コンパネ)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/13 9:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H4南エリア				2019/3/7	2019/3/7	2019/3/7		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/2/26	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-92		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	可燃物(角材・コンパネ)	A	03	D	B	5 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メモ	木材は10tダンプ使用									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	03	—	0351
				2019/3/7
調整後保管日時		2019年3月13日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(角材・コンパネ)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/13 12:00	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	③	履歴		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年3月14日	(木)	8:00	承認	審査	作成													
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																		
	発生場所	H4南エリア																		
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL															
	元請会社		担当者		TEL															
	線量測定年月日	2019/2/26	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-92													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	可燃物(角材・コンパネ)	A						03	D	B	5	m	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	無	
		2											m							
		3											m							
		4											m							
5						m														
木材は10tダンプ使用																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0352
				2019/3/7
調整後保管日時		2019年3月14日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月14日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(角材・コンパネ)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/14 8:00	2 m			1
									m			
									m			
									m			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013803 - 0028

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年3月15日	(金)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	H4南エリア			2019/3/7	2019/3/7	2019/3/7		
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL				
	元請会社		担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/2/26	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-92	
保管物名	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	難燃物(トラフ)	C 04	D B	5 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2				m ²				
	3				m ²				
	4				m ²				
5				m ²					
メモ	トラフは1m3コンテナで搬入								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	03	—	0353
調整後保管日時				2019年3月15日 10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		難燃物(トラフ)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/15 10:00	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0028																																																																																																																																
作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	12:30		承認	審査	作成																																																																																																																																	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																																																																																																																																								
	発生場所	H4南エリア						2019/3/7	2019/3/7	2019/3/7																																																																																																																																
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL																																																																																																																																			
	元請会社					担当者	TEL																																																																																																																																			
	線量測定年月日	2019/2/26		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-92																																																																																																																															
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率																																																																																																																														
	1	難燃物(トラフ)			C	04	D	B	5 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	無																																																																																																																														
	2								m ²																																																																																																																																	
	3								m ²																																																																																																																																	
4								m ²																																																																																																																																		
5								m ²																																																																																																																																		
トラフは1m3コンテナで搬入																																																																																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="10">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="9">2019年3月15日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="7">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="7">F1-ICW-179</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容										測定日	2019年3月15日									測定No.	氏名	測定器	管理番号							1		ICW	F1-ICW-179							2										3										4																																																																		
線量測定内容																																																																																																																																										
測定日	2019年3月15日																																																																																																																																									
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																																																							
1		ICW	F1-ICW-179																																																																																																																																							
2																																																																																																																																										
3																																																																																																																																										
4																																																																																																																																										
保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																																																														
	1	1	難燃物(トラフ)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/15 12:30	5 m ²			1																																																																																																																														
									m ²																																																																																																																																	
									m ²																																																																																																																																	
									m ²																																																																																																																																	
									m ²																																																																																																																																	
									m ²																																																																																																																																	
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">※カテゴリ</th> <th rowspan="2">①</th> <th rowspan="2">A</th> <th rowspan="2">可燃物</th> <th colspan="2">01 紙・ウエス類</th> <th colspan="2">02 プラスチック・ポリビニール類</th> <th colspan="2">03 木材類</th> <th colspan="2">04 可燃物その他</th> <th colspan="2">05</th> </tr> <tr> <th colspan="2">06</th> <th colspan="2">07</th> <th colspan="2">08</th> <th colspan="2">09</th> <th colspan="2">10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">①</td> <td rowspan="4">B</td> <td rowspan="4">不燃物</td> <td colspan="2">01 金属ガラ</td> <td colspan="2">02 コンクリートガラ</td> <td colspan="2">03 機器類・制御盤類</td> <td colspan="2">04 土砂類</td> <td colspan="2">05 塩化ビニール類</td> </tr> <tr> <td colspan="2">06 保温材</td> <td colspan="2">07 石綿含有物</td> <td colspan="2">08 ケーブル類</td> <td colspan="2">09 アスファルトガラ</td> <td colspan="2">10 不燃物その他</td> </tr> <tr> <td colspan="2">11 フランジタンク本体</td> <td colspan="2">12 フランジタンク付属品</td> <td colspan="2">13</td> <td colspan="2">14</td> <td colspan="2">15</td> </tr> <tr> <td colspan="2">11 フランジタンク本体</td> <td colspan="2">12 フランジタンク付属品</td> <td colspan="2">13</td> <td colspan="2">14</td> <td colspan="2">15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②</td> <td rowspan="2">C</td> <td rowspan="2">難燃物</td> <td colspan="2">01 ゴム類</td> <td colspan="2">02 難燃シート類</td> <td colspan="2">03 ホース類</td> <td colspan="2">04 難燃物その他</td> <td colspan="2">05</td> </tr> <tr> <td colspan="2">01 伐採木(幹・根)</td> <td colspan="2">02 伐採木(枝・葉)</td> <td colspan="2">03</td> <td colspan="2">04</td> <td colspan="2">05</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②</td> <td rowspan="2">D</td> <td rowspan="2">伐採木</td> <td colspan="2">01 伐採木(幹・根)</td> <td colspan="2">02 伐採木(枝・葉)</td> <td colspan="2">03</td> <td colspan="2">04</td> <td colspan="2">05</td> </tr> <tr> <td colspan="2">01 伐採木(幹・根)</td> <td colspan="2">02 伐採木(枝・葉)</td> <td colspan="2">03</td> <td colspan="2">04</td> <td colspan="2">05</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②</td> <td colspan="2">状 態</td> <td colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</td> <td colspan="2">③</td> <td colspan="2">履 歴</td> <td colspan="3">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</td> </tr> </tbody> </table>												※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		06		07		08		09		10		①	B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15		11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15		②	C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		②	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		
	※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリビニール類		03 木材類		04 可燃物その他						05																																																																																																																									
06					07		08		09		10																																																																																																																															
①	B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																																																																															
			06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																																																																															
			11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15																																																																																																																															
			11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15																																																																																																																															
②	C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05																																																																																																																															
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05																																																																																																																															
②	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05																																																																																																																															
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05																																																																																																																															
②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																																																
<p>注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)</p> <p>注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。</p> <p>注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、$\beta + \gamma$線量率欄に「$\beta + \gamma$」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、$\beta + \gamma$線量率の記載不要。</p>																																																																																																																																										

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0033

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月15日		(金)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~4号機 タンクエリア水回収設備他点検修理工事								
	発生場所	J6エリア近傍					2019/3/7	2019/3/7	2019/3/7	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/2/21	測定者		測定器名	NaIシンチレーション	管理番号	F1-SC-205		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	ビニールシート	A	02	D	B	3 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2	塩化ビニール類(ホース類)	B	05	D	B	2 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0361
				2019/3/7
調整後保管日時		2019年3月15日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月15日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2		ICWBL	F1-ICWBL-127	
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニールシート	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/15 9:00	3.7 m ²			1
	2	1	塩化ビニール類(ホース類)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアB	2019/3/15 9:00	1 m ²			2
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013402 - 0005

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	03	—	0364
				2019/3/8
調整後保管日時		2019年3月13日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年3月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年3月13日		(水)	12:30	承認	審査	作成			
	作業件名	5・6T メガフロート解体									
	発生場所	5・6号機 建屋内全域									
	作業主管G	機械グループ		監理員			TEL				
	元請会社			担当者			TEL				
	線量測定年月日	2019/3/7	測定者			測定器名	SC	管理番号	F1-SC-205		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	ダンボール	A	01	D	A	5 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2						m ³				
3						m ³					
4						m ³					
5						m ³					

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		ダンボール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアB	2019/3/13 12:10	5.8 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。